

《新型コロナウイルスの感染予防・対策》

新型コロナウイルス感染の予防については、これまで先生方から幾度となく注意がありました。できることは確実に実践し、皆さん一人ひとりが感染しないように心がけてください。これまでに学校から配布した保健だよりなどから、再度注意点をまとめました。

- ① 登校（外出）前に体調が悪い場合は、必ず検温をする。
 - ② 風邪の症状や37.5度以上の発熱、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）の症状が一つでも見られるときは、無理をせず自宅で休養する。「出席停止・忌引き等の日数」となります。学校に必ず欠席連絡をしてください。
 - ③ こまめに手を洗ってください（手のひらや甲、指先や爪の間に石鹸を付けて30秒以上こすりましょう）。
清潔なハンカチを準備してください。様々なものを触れることで、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。その手で顔や鼻、目や口を触ると感染リスクが高まります。
 - ④ 咳エチケットを守りましょう。咳やくしゃみと一緒にウイルスが放出され、他の人がウイルスを口や鼻から吸い込んでしまいます（飛沫感染）。とっさの時は服の袖の内側で口と鼻を覆ってください。手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時は、すぐに手を洗いましょう。
 - ⑤ 免疫力を高めよう。十分な睡眠やバランスの取れた食事を心がけましょう。
 - ⑥ 換気：教室の窓を対角線上に2カ所開けましょう。家庭でもこまめに換気をしてください。
 - ⑦ 人混みを避け、不要・不急の外出は避けましょう。
- （写真は昇降口の新型コロナウイルス感染防止の掲示です）



《全日制》

新型コロナウイルスの感染防止については、上にも書いたように一人ひとりが予防と対策に努めることが重要になっています。できることを確実に実行してください。

校長室の掃除は1年1組の男子が雑巾や掃除機を使って毎日頑張ってくれました。掃除後は手を洗い、ポケットからハンカチを出してきれいに拭いていました。感心です。（写真右）



《定時制》

2月7日（金）3、4限目に大教室で「定時制合格体験発表会」が行われました。在校生が先輩たちの生の体験を聞くことで、将来の進路実現に生かすことを目的にしています。介護や医療等の事業所に就職が内定した生徒、看護専門学校や4年制大学に合格した生徒が志望の動機や日頃の勉強方法などを自分の言葉で話してくれました。就職内定や進学合格に至るまで、真剣に取り組んだことなので、聞いている生徒にもしっかり伝わったと思います。（写真右）



《通信制》

2月23日（日）に後期補充考査が実施されました。後期も単位の修得に必要なスクーリングやレポート作成に励んできましたが、考査が続いた2月の日曜日、月曜日にも多くの生徒が登校していました。

この日、考査が行われた第1会議室（写真右）では9時から16時40分まで、時間割に合わせて生徒が入室して熱心に試験に取り組んでいました。進級、卒業を目指してやるべきことに取り組んでください。

